

7 月市長定例記者発表要旨

と き 令和元年 7 月 2 日（火） 11 時～ ところ 庁議室

1 さいきツーリズム戦略の策定について

佐伯市総合計画の中で観光分野については「地域資源をいかした産業と観光の創生」としてこれまでの観光業に加え、農林水産業や造船業等の地域の産業を観光化することにより観光産業へと発展させることと位置付けている。

今回、市内外の関係団体、観光事業者で構成する「さいきツーリズム戦略策定委員会」の意見を聞きながら、総合計画の具体的な行動計画となる「さいきツーリズム戦略 2019-2023」を策定した。今後は、この戦略に基づき関係者が一体となった積極的な事業を展開し、更なる誘客促進を図る。

（1）「さいきツーリズム戦略 2019-2023」の体系

戦略 1：佐伯ならではの観光素材の発掘と磨き上げ

スロートーリズム、フードツーリズム、文化・スポーツツーリズム等の推進、
スローな時間を過ごしていただくための取組など

戦略 2：情報発信

SNS 等を活用した効果的な情報発信、マスメディアと連携した情報発信力の向上、
市出身著名人「さいき応援大使」の活用など

戦略 3：誘客

クルーズ客船の寄港誘致、県内有力観光地との連携、スポーツ大会・合宿の誘致など

戦略 4：受入態勢の構築

観光事業者を対象とした接遇研修の実施、観光ガイドの養成、観光案内所の機能充実など

（2）キャッチコピーとコンセプト

「おかえりなさいき」
佐伯

ア. コンセプト

- （ア）初めて来たのに初めてな感じがしないまち
- （イ）二回目にはもう「おかえり」と言ってくれるまち
- （ウ）九州一面積と心が広く、大概のことは笑って川や海に流してくれるまち
- （エ）観光っぽくない観光キャッチコピー

イ. 活用例

- （ア）食のイベントで ⇒ 「お食べなさいき（佐伯）」
- （イ）遊びを勧めるとき ⇒ 「遊びなさいき（佐伯）」
- （ウ）地酒を勧めるとき ⇒ 「お飲みなさいき（佐伯）」
- （エ）一日の終わりに ⇒ 「おやすみなさいき（佐伯）」 など

「 Sush valley Saiki 」 ※ 特に訪日外国人向けのキャッチコピー

※「valley」は主に谷や溪谷と訳されるが、“集積”という意味もある。

ア. コンセプト

(ア) 世界に通用するネタと技術があるまち

(イ) ハイレベルな寿司屋だけでなく、居酒屋でも気軽においしい寿司が食べられるまち

(ウ) 「シリコンバレー（情報産業）」、「ナパバレー（ワイン）」に続く「寿司バレー」を目指すまち

(3) 目標数値（令和5年度）

ア. 観光施設等入り込み客数 1,294,000 人／年 （平成30年度実績： 977,506 人）

イ. 宿泊客数 242,900 人／年、うち外国人 30,000 人

（平成30年度実績：宿泊客数 131,688 人、うち外国人 2,135 人）

※ 別紙、「さいきツーリズム戦略2019-2023」等 添付

2 ベトナムのホストタウン登録について

6月28日、2020年東京オリンピック・パラリンピックにおけるベトナムのホストタウンに登録された。

(1) ベトナムについて

本市に居住するベトナム人は、5月末時点において技能実習生として107人が働いており、本市在住外国人の25パーセントを占め、2番目に多い。また、去年は観光協会において、株式会社HIS（総合旅行会社）のベトナム職員2名（計6か月）の研修を受け入れ、ベトナムへ向けた情報発信等に取り組んだ。今後、在住ベトナム人等との交流による地域の活性化やインバウンドによる交流人口の拡大が期待できる。

(2) 今後の取組

ア. 2020年東京大会の事前合宿でベトナム代表選手を受け入れる他、大会終了後には選手を招き、ベトナムからの技能実習生や住民等との交流を行う。（パラ卓球、パラバドミントン、パラ水泳等）

イ. ベトナムの選手と地元小、中学生や地域住民による交流を通じ、多文化共生に向けた幅広い分野でのグローバル化を進めていく。

3 グラッドストーン市との国際交流について

グラッドストーン市（オーストラリア）とは、平成8年9月の姉妹都市提携以降、国際交流事業を実施している。

（1）令和元年度教育国際交流事業

隔年で本市とグラッドストーン市の中学生等が相互に訪問し、現地校との交流やホームステイをとおり、生きた外国語や文化を学び、グローバルな視点を育て、外国語力の向上を図ることを目的に実施。今回は、グラッドストーン市の中学生が本市を訪問する。

ア. 期 間 7月4日（木）～10日（水）

イ. 交 流 先 ツルーア校（生徒11人、教員2人）は佐伯城南中学校へ
タナムサンズ校（生徒14人、教員2人）は鶴谷中学校へ

ウ. 内 容 授業参加や書道等の文化体験等の交流のほか、ホストファミリー（生徒）宅でホームステイをする。

（2）グラッドストーン市長の佐伯市訪問

グラッドストーン市長、同市評議員など4名が佐伯市を訪問する。訪問初日には表敬訪問に市役所を訪れ、翌日からは本市を訪問する同市中学生の国際交流、市内各所を視察する。

ア. 期 間 7月3日（水）～6日（土）

イ. 表敬訪問 7月3日16時から 市長（応接室）

4 佐伯市就職面接会・会社セミナーについて

市内企業を担う人材を確保し地域の活性化を図ることを目的として、大学生及びU・J・Iターン希望者等を対象とした企業説明会を開催する。市内企業は22社が参加予定。

（1）と き 8月12日（月） 12時～16時

（2）と ころ 三余館大ホール

（3）対 象 者 令和2年3月卒業予定者（大学・短大・高専・専修学校）、現在在学中（大学3年生等）で次年度以降の為の参加者、仕事を探している人、転職希望者

（4）交通費助成 5社以上の企業ブースを回った学生には交通費の一部を補助する。
補助金額は、県内 3,000円、九州管内 5,000円、九州外 10,000円

※ 別紙、就職面接会・会社セミナーチラシ、参加企業一覧 添付

5 地域おこし協力隊活動報告会・関係人口講演会について

本市で活動している地域おこし協力隊の活動内容を市民に広く周知することを目的とした「地域おこし協力隊活動報告会」及び、地域や地域の人々と多様に関わる関係人口について、その考え方を広く周知し、関係人口のすそ野を広げることを目的とし「関係人口講演会」を開催する。本市での関係人口に関する講演会は初めての開催。

(1) と き 7月20日(土)

ア. 佐伯市地域おこし協力隊 活動報告会 10時から

イ. 関係人口講演会 11時30分から

(ア) テーマ 「関係人口」と地域づくり ～「関係人口」と地域おこし協力隊、様々な主体の連携による地域づくり～

(イ) 講 師 田口 太郎氏 徳島大学准教授

(2) と こ ろ 市役所6階 大会議室

※ 別紙、地域おこし協力隊活動報告会チラシ 添付

6 市民ふれあい農園の利用者募集について

本市においては、化学肥料や農薬に頼らない有機農業を推進しており、営農としての有機農業を目指す方々の実践の場として、女島第二市民ふれあい農園の9月開園に向けて準備を進めている。この農園は、有機農業による栽培を対象とした初の市民農園となる。

有機農業を目指す人を広く市民から募集し、栽培技術の習得を図りながら有機農業の展開を進めていく。

(1) 名 称 女島第二市民ふれあい農園

(2) 対 象 者 市内に居住し有機農業を目指す人

(3) 利 用 期 間 9月～令和2年3月31日

※1年ごとの更新ができ、最長5年間の利用が可能

(4) 利 用 目 的 化学肥料や農薬を使用しない栽培方法の習得

(5) 利 用 金 額 年間4,610円 ※令和元年度は2,700円

(6) 募 集 区 画 38区画(1区画約45㎡)

(7) 申 込 期 限 8月5日(月)

7 かみうら海まつり & 日本一短い花火大会について

上浦の地域が育んだ文化の紹介・宣伝等のイベントの開催により、交流人口の増加や地域住民相互の親睦を図り、地域の賑わいを創出することを目的として「かみうら海まつり & 日本一短い花火大会」を開催する。

これまで「夕涼みコンサート & 花火大会」として夕方からの開催であったが、本年度は来場者参加型のイベントを計画し、昼の部と夜の部の2部構成で実施する。

(1) と き 7月27日(土) 13時から

(2) と こ ろ マリノポリス記念公園 上浦大字浅海井浦

(3) 主な内容

ア. 昼の部 13時から

- ・Go-Za-Way! ～海上ござ走り～
- ・海チャリ ～一本橋チャレンジ～
- ・養殖本マグロのカブト焼き試食
- ・バナナボート無料体験

イ. 夜の部 18時30分から

- ・ステージイベント(東雲中吹奏楽部、上浦文化協会 等)
- ・花火打上げ

別紙「かみうら海まつり & 日本一短い花火大会」チラシ 添付